

日刊アマゴルフ2024
第30回全日本レディースゴルフ選手権
【決勝大会】

開催日：2024年10月1日（火）、2日（水）

開催コース：磯子カンツリークラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規則やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰（2罰打）」となる。

ローカルルール

1. アウト・オブ・バウンズ(規則18. 2)
アウトオブバウンズは白杭のコース側の地表レベルで結んだ線によって定められる。
コース内の黄縞杭を球が越えた場合は、アウトオブバウンズ(ラインOB)とする。
2. ペナルティーエリア(規則17)
レッドペナルティーエリアは赤線をもってその限界を標示する。
3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則16)
 - (a) 修理地
青杭を立て、白線で囲まれた区域。
 - (b) 動かさない障害物
 - (1) 排水溝
 - (2) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。
 - (3) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。
 - (4) コース内の構築物
4. プレー禁止区域
クローズドの標示のある予備グリーン(カラー部分も含む)はプレー禁止の修理地とし、その上に球がある場合、もしくはスタンスがかかる場合は、規則16の救済を受けなければならない。
5. 不可分な物
以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。
 - (a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。
 - (b) ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. カート道路
電磁誘導カート用の2本のレールは、全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則16. 1fに基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済をうけなければならない。但し、スタンスにだけ障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
7. クラブと球の規格
 - (a) ストロークを行うために使うドライバーはR&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。
 - (b) ストロークを行うときに使用する球はR&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。このローカルルールの違反に対する罰: 失格
8. ゴルフシューズ
ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない:
伝統的なスパイク。すなわち、地面を深く貫くようにデザインされた1つあるいは、複数の鋳を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。
このローカルルールの違反に対する罰: 規則4. 3参照

9. プレーの中断と再開(規則5. 7)

(1) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則5-7b、c、dに従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則20.2に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中止：短いサイレンを繰り返して通報する。またはサイレンを使用せず本部より競技委員会を通じてプレーヤーに連絡する。

危険を伴う気象状況のための即時プレー中止：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

10. 練習

ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う、または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

11. キャディー

プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰：違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

競 技 の 条 件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

3. 競技終了時点

競技委員が定めた、成績掲示をもって終了したものとみなす。

注 意 事 項

1. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合は「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則1. 2aおよび20. 2に基づいて失格とする場合がある。
2. ラウンド中、コース内でのスマートフォンおよび携帯電話などの通信機能の使用を緊急時以外、禁止する。
3. 悪天候等により、委員会が競技途中中止を決定した場合、9ホール終了時点で競技を成立させることがある。
4. スタート時間の30分前には大会受付を済まし、10分前には必ずティーイング・グラウンド付近にて待機すること。
5. 指定練習グリーンではパットिंगのみとし危険防止のためアプローチ練習は禁止する。
6. 9ホール終了後の練習は指定練習グリーンでのパットिंग練習のみとし、アプローチ練習及び打ち放し練習場での練習は禁止する。
7. 打ち放し練習場では備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1コイン(30球)を限度とする。なお、磯子CCの練習場は、6打席で約40ヤードの施設となります。
推奨：スタート前に近隣の練習場の使用をお奨めいたします。

235-0043、神奈川県横浜市磯子区氷取沢523、氷取沢練習場

8. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に開けないように注意のこと。プレーの不当な遅延にはペナルティを課す場合がある。
9. ギャラリーは、コース内に立ち入る事を禁止する。
10. ティー・マークは、日刊アマ専用ティーを使用する。
11. **最終日に、1位タイが出た場合はプレーオフを行い、優勝者を決定する。使用ホールは1番から9番の順で行う。但し、日没等で競技委員会がプレー続行不可能と判断した場合、注意事項12項目を適用する。**
12. ミッドの部、シニアの部の表彰順位決定に際し、タイが生じた場合、マッチングスコアカード方式により決定する。
 - * マッチングスコアカード方式は①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順にスコアを比較し順位決定
 - ① 10番から18番ホールの合計スコア
 - ② 13番から18番ホールの合計スコア
 - ③ 16番から18番ホールの合計スコア
 - ④ 18番ホールのスコア
 - ⑤ 4番から9番ホールの合計スコア
 - ⑥ 7番から9番ホールの合計スコア
 - ⑦ 9番ホールのスコア
13. **全競技終了後、表彰式を行います。表彰対象は、総合15位タイと、ミッド(25才以上)の部および、シニア(50才以上)の部の上位3位までとします。**
※参加は、対象者のみとする。飲食は行わない。
なお、上位 10 位タイまでの選手は、2025年日刊アマ全日本大会のシード権有資格者とする。

【通知】

クラブバスは、両日とも運行され、洋光台駅発・磯子CC行。磯子CC発・洋光台駅行を運行します。運行時間はコースホームページで確認願います。

クラブハウスは6:15にオープン。受付開始が6:25、レストランは6:35からの営業となります。

～日刊スポーツ新聞社、競技委員会～